

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ヒト好中球由来小胞に着目した新たな視点からの敗血症の病態 制御 (同上)
研究期間	2018年4月～2020年3月
研究機関名	順天堂大学医学部
研究責任者職氏名	教授 長岡 功

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

細菌が感染して血液中に入ると敗血症をおこすことがあります。日本のような先進国でも、敗血症を治療する有効な治療法が未だに確立されていないため、集中治療室に入っている患者の最大の死因は敗血症です。敗血症で亡くなる患者を減らすためには、従来の方法とは異なる新たな視点に立って敗血症の病態を理解し、それに基づいた治療法の開発を進める必要があります。近年、敗血症において、マクロファージと呼ばれる細胞が死んでしまうことが、病態の悪化に関与すると言われています。そこで私達は、この細胞死を抑制する効果がある因子を探査しています。その因子として私達が注目しているのが、敗血症の生存患者の血中で増加するエクトソームと言われる小胞です。このエクトソームは、献血で頂いた血液中の細胞を刺激することで、試験管内で生成させることができます。本研究では、こうして生成させたエクトソームが、マクロファージの細胞死を抑制する活性があるかどうかを調べます。本研究の成果は、敗血症の病態を解明し、そして新たな視点に立った治療法の開発へ向けて、重要な一步になると期待できます。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）

献血血液等の情報：なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

頂いた血液から白血球の好中球と呼ばれる細胞を取り出し、好中球を刺激してエクトソームを生成させます。

エクトソームをマクロファージ様の培養細胞に作用させて、細胞死が抑制されるかどうかを評価します。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回ができます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

本研究に関する問い合わせ先

所属	順天堂大学医学部 生化学第二講座
担当者	熊谷由美
電話	03-3813-3111 内線 3516
Mail	yu-kumagai@juntendo.ac.jp